

東兎中だより



NO. 6
東兎中学校学校通信
令和5年9月1日

2学期が始まりました！

～2学期の始業式で、東兎中学校の生徒たちに身に付けてほしい力について話をしました～

2学期が始まるにあたり、みなさんに心にとめて頑張ってもらいたいことを話します。それは、最近よく耳にする言葉ですが、「主体性」を身に付けてほしいということです。

この夏、甲子園で旋風を巻き起こし、107年ぶりに全国優勝した慶応高校が、この主体性を大切にしている、と話題になりました。「髪型が自由で全員長髪」、とか「応援がすごかった」などと様々な点で話題になっていますが、着目したいことはそこではなく、「練習に取り組む姿勢や考え方」についてです。

練習では、常に「考えること」、「話すこと」を大切にしているそうです。「この練習にはどんな意味があるのか」とか、「今のプレーはこうやったらもっと良かったのではないか」、など常に考え、監督や仲間と話し合いながら練習したり試合をしたりしている、ということです。

また、慶応の森林監督は、「試合の様々な場面において、『自分が監督だったらどう判断するか』、を選手にいつも考えさせている」、と言われていました。つまり、一人一人が「当事者意識をもつこと」を意識づけていたそうです。

今までの高校野球は、監督、先輩の言うことを素直に聞くことが大切にされてきました。厳しい監督のいうことに従い、厳しい練習をこなす・・・みなさんは、「これって大変よな」と思うかもしれませんが、こちらの方が実は楽で、しかも負けた時には監督やコーチのせいにはできません。主体性をもって自分たちで考えてやる、というのは一見自由でいいように見えますが実はそっちの方が大変なんです。

まず、主体性を持つためには、自分自身の意思や考えをちゃんと持っていかなくてはなりません。また、周りから言われなくても自分で計画をたて、行動におこす力がなくてはなりません。さらに、結果に対しても自分で責任をとらなければなりません。成功も失敗も自分自身の選択と行動次第になってきます。

みなさんに望むことは、この主体性を学習にも生かしてほしい、ということです。たとえば、家庭学習で先生が出す宿題を言われるがままにやって提出して満足する、というのではなく、宿題+自分がもっと詳しく知りたいことや苦手なことに自分で考えて取り組む時間を作ってほしいということです。特に3年生は受験生として、自分の目標とする高校に入るためにも自分でどう考えて勉強していけばいいのか、考えなくてはなりません。高校に入ることがゴールではなくて、そうやって自分で計画をして考えて、いわゆる「主体的」に取り組める力がついていくことが、もっと重要な目標だと思います。また、先生方も授業の進め方について、一方的に教えるというスタイルから、みなさんが「自分で学ぶ」スタイルへと変えていっています。

「家庭学習や授業に主体的に取り組む」ということは、簡単ではないかもしれませんが、2学期はぜひ、そういった意識をもって、何事にも主体的に取り組める人になってほしいと思います。

玉野市立東兎中学校長 栗林 太一郎

2学期の行事に本気で取り組もう！

2学期には大きな行事がいくつもあります。全校では、「日輪祭（体育会・音楽発表会）」、1年生は「福祉体験学習」、2年生は「広島研修」など、まだまだ他にもたくさんの行事があります。これらのどれもが、全校や学年など、チーム東兎中を創り上げるための大切な行事です。

参加するみんなが「創り上げるぞ」という気持ちにならないとうまくいきません。チームを創る、大切な一人として、行事に対して一生懸命、本気で取り組んでみて下さい。本気でやれば必ずみなさんの成長につながります。まずは、9月16日（土）の体育会に向けて、すでに練習は始まっています。72名全員ですばらしい体育会を創り上げましょう。

また、2学期は部活動においても1・2年生による、「備前西地区大会」があります。3年生が引退し、新しい体制で日々の練習に取り組んでいます。大会に向けて努力を積み重ねていってほしいと思います。



※保護者の方へ

部活動は、全国的に地域移行を進めています。休日や平日の週1回程度でも構いませんので、地域のボランティアとして部活動の支援をしていただけませんか。「学校支援ボランティア」に登録することで保険対応もできます。また、部活動以外でも様々な面で東兎中の生徒を支えてくださる方を募集しています。ご連絡は（66-5134教頭）まで。